

ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実 成果報告（概要）【長崎県】

目的・目標

テレワーク・在宅勤務などの新たな働き方や新たな職域への就労の可能性を広げるための職業教育の充実を図る。全ての特別支援学校高等部の生徒が、将来の職業生活において求められるICT活用に必要な知識や技能等を、教育課程の範囲において、興味関心をもちながら習得するための指導方法や教材の開発を行う。

取組内容

キャリア検定（アノテーション） の開発

- 企業等と連携した画像アノテーションに関する技能検定の開発
- 研究協力校での授業実践を踏まえた検定問題の改善

教育課程における単元や 指導方法の開発

- 各教科等の指導におけるイラストレーターやCADの活用場面や指導方法の整理
- 研究協力校における研究授業・授業研究会の実施

新たな職域における職場実習や 就労の促進

- ICT関連企業と連携した職場実習の実施
- 特別支援学校就労支援フォーラムの開催

成果

- ◆ Microsoft Vottを使用して画像アノテーションに関する技能検定を開発し、導入授業案や実施手順書を作成した。
- ◆ イラストレーターやCADを各教科の指導で活用することで、生徒がソフトウェアに興味をもつとともに、特徴を理解して効果的に活用しながら単元の目標達成につなげることができた。
- ◆ 学校教育で育むべき力と企業が求める力の視点、現場実習の評価から、将来のICTを活用した職業生活において求められる力について整理した。
- ◆ オンラインでの現場実習や業務体験を実施し、在宅勤務による就労のイメージをもつことができ、進路の選択肢として考える生徒が出てきた。

課題と対応方策

- 検定を試行実施し、問題の再検討や実施上の課題を整理する。
- イラストレーターやCADだけに限定せず、様々なソフトウェア等を活用する中で、職業生活において求められる力を育成するための指導方法や手立てについて整理する。
- ICTを活用した職場実習での企業側からの評価や課題を、教育課程の改善及び授業改善につなげる。